

履修年度	2026
担当教員	内藤 二郎
連番	
曜日・時限・開講期	
期間	前期
授業形態	講義
分野系列	(経済学部専門科目)
学年	1年生
単位	2
開講キャンパス	
科目ナンバリング	120ECPO0111 J
科目とDPの関連	
備考	
最終更新日	2025/12/8 9:57

授業の概要	変化の激しい世界の経済をみる視点を養うため、戦後世界経済の大きな流れを理解すること、および基本的な考え方(理論)を身に付けることを第一の目的とする。主に、国際貿易(ルール、WTO体制、FTAなど)、国際金融(為替レート等)、および地域統合等について講義する。主要国・地域の経済、貧困問題等のトピックスについても幅広い視点から取り扱う予定である。2年次以降の国際経済につながる基礎的な内容を中心とする。	
授業の到達目標	(1) 世界経済の全体像とトピックスを広く理解し、国際情勢の現状に関心をもつ。 (2) 国際貿易・国際金融の仕組みやルールについてやや深く理解し説明できる。	
DP一覧表		
授業の方式	対面方式	
授業の方法①	講義形式で行う。	
授業の方法②	特徴	該当有無
	A : 企業や自治体と連携した課題解決型学習 (PBL)	
	B : 討議 (ディスカッション、ディベート等)	
	C : グループワーク	
	D : プレゼンテーション	
	E : 実習、フィールドワーク	
	F : 双方向授業 (ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等)	
	G : 双方向授業 (ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	
	H : 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う (反転授業)	
	I : 外国語のみで行われる授業	
	J : インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業	
	K : 統一試験結果に基づくクラス編成による授業	
L : 少人数クラス編成による授業		
M : 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業		

		授業内容	担当教員
		第1回	イントロダクション
		準備学修 (予習・復習等)	必要な時間
		復習	4時間
第2回		授業内容	担当教員
		国際情勢を理解する視点	内藤二郎
		準備学修 (予習・復習等)	必要な時間
		復習	4時間
第3回		授業内容	担当教員
		国際貿易を考える①	内藤二郎
		準備学修 (予習・復習等)	必要な時間
		復習	4時間
第4回		授業内容	担当教員
		国際貿易を考える②	内藤二郎
		準備学修 (予習・復習等)	必要な時間
		復習	4時間
第5回		授業内容	担当教員
		国際貿易を考える③	内藤二郎
		準備学修 (予習・復習等)	必要な時間

授業 計画		復習	4時間
	第6回	授業内容	担当教員
		地域経済・地域統合①	内藤二郎
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		復習	4時間
	第7回	授業内容	担当教員
		地域経済・地域統合②	内藤二郎
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		復習	4時間
	第8回	授業内容	担当教員
		海外直接投資・移転価格①	内藤二郎
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		復習	4時間
	第9回	授業内容	担当教員
		海外直接投資・移転価格②	内藤二郎
準備学修（予習・復習等）		必要な時間	
	復習	4時間	
第10回	授業内容	担当教員	
	国際収支統計①	内藤二郎	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間	
	復習	4時間	
第11回	授業内容	担当教員	
	国際収支統計②	内藤二郎	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間	
	復習	4時間	
第12回	授業内容	担当教員	
	国際金融・外国為替制度①	内藤二郎	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間	
	復習	4時間	
第13回	授業内容	担当教員	
	国際金融・外国為替制度②	内藤二郎	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間	
	復習	4時間	
第14回	授業内容	担当教員	
	国際金融・外国為替制度③	内藤二郎	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間	
	復習	4時間	
第15回	授業内容	担当教員	
	まとめ	内藤二郎	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間	
	復習	4時間	

フィードバックの方法	レポートを課した場合には、授業内でフィードバックを行う。 試験については、manabaに総評を記載する。		
教科書	なし（プリントを配布する予定）		
参考文献など	池田剛士・土橋俊寛編『はじめて学ぶミクロ経済学・マクロ経済学』税務経理協会2023年 滝川好夫著『楽しく学ぶグローバル経済論』泉文堂 2015年 石川城太・椋寛・菊地徹著『国際経済学をつかむ 第2版』有斐閣 2013年		
成績評 価の方 法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	80	学期末に筆記試験を行う
	実技評価	0	なし
	レポート評価	10	時事問題についてレポートを課すことがある
	平常点評価	10	質問、授業参加度などを考慮する
	その他	0	なし
履修上の注意	1年次～の選択必修科目であり、毎回の授業に出席して講義内容を着実に理解する必要がある。丹念に繰り返し復習して、理解を深めることが重要となる。		
連絡先・連絡方法など	メール：jnaito@ic.daito.ac.jp 講義に関する資料や課題についてmanabaにアップすることがある。見落としのないよう確認すること。		

当該科目に関連する 実務経験の有無	なし
実務経験の内容および 当該科目への活かし方	なし
その他	特になし